

令和7年度 自己評価・こども園関係者評価書

令和8年3月16日

社会福祉法人津万 つまこども園

1 本園の教育目標

「明るい声が響き 笑顔あふれる楽しいこども園」

- ・たくましく明るい子
- ・考えやりぬこうとする子
- ・笑顔あふれるやさしい子

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

子ども・保護者・保育者が互いに信頼関係を築き、子どもたちの笑顔あふれる温かな場所となる。

3 評価目標の達成及び取り組み状況（10段階評価）

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育及び保育の基本と目標に向かって充実した保育を実践する	8.6	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解し、実践するように努めた。各クラスが「行事を通してめざす園児の姿」に関する協議や互いの意見交流を中心とした研修により、日々の教育・保育実践に着実に生かすことができるようになってきている。カリキュラム検討委員会で定期的に協議しその内容が充実できるよう努めた。
2	子どもの発達を捉えた保育の在り方や幼児への対応	8.9	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意するように努めた。また、発達の気になる子どもや支援の必要な子どもについては毎月の職員会議や連絡会で情報交換を行い、対応について共有するようにしている。特に行事に向けての取組の際に、関係の保育者でどのような関わり方をするか協議して、個々に応じた支援について研修を行った。
3	「ねらい」及び「内容」の達成に向けての保育者の資質・能力の向上	8.5	看護師雇用による病児保育事業の2年目となり、昨年度まで以上に様々な感染症対策や衛生管理をはじめ、子どもの体調管理に丁寧な対応を心がけた。このような状況において、領域「健康」については十分な資質・能力の向上が見られたと思われる。高齢者や小中学生との交流の機会も多くの機会をとることができた。領域「食育」に関しては、5才児の到達目標をより明確に定め、取り組んでいく必要性がある。
4	低年齢児の保育実施上の保育者としての資質と能力の向上	8.6	室内の温度や湿度をこまめにチェックし、子ども一人一人の発達状態や健康状態をよく把握し、細かく観察している。特に、0歳児においては視察訪問でアドバイスしていただいたことを参考に発達段階に即して発達を促す手作りの遊具を設置するなどの工夫をしており、定期的にクラスの担任団で検討を加えている。
5	指導計画の作成・評価・反省	8.6	当園の「めざす子ども像」の達成に向けて、年齢ごとに作成した年間計画について、昨年の反省点に基づいた練り直しを行った。各クラスの担任が、カリキュラム検討会で前月の評価反省をしたり次の月のカリキュラムの検討を行ったり意見交換をしたりした。日々の教育・保育で感じている思いや園児具体的な姿を出し合い、充実した協議をすることができた。
6	研修と研究、自己評価	7.7	園内研修として「行事を通してめざす園児の姿」に関する研修を行った。少人数で話し合い、ほぼ全員の職員が参加することができた。「保育者間の人間関係」づくりをしながら、「教育・保育内容を高めること」をめざす研修であった。こうした研修は日々の教育・保育実践の充実の基盤となるとと思われる。研修の実施回数を可能な範囲で増やしたい。
7	子育て支援	7.2	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎の際、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするようにしている。また、保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めるようにした。個別懇談を実施し子育て支援に力を注ぐことができた。さらに、困り感のある家庭が相談できるように、主幹保育教諭が子育て相談を担う体制を整え、地域子育て相談機関を設置した。保護者の様々な悩みに対応できるよう、関係機関と連携して取り組んでいくことができるように努めた。

4 総合的な評価結果（10段階評価）

評価	理由
8.4	<p>評価項目の達成及び取り組み状況において、概ね達成されている。</p> <p>保育内容においても概ね達成されているが、今後は、園外保育などを充実していく中で、自然や身近な事象に関心をもったり動植物の飼育・栽培に意識的に取り組んだりすることに力を注ぎたい。</p> <p>研修と研究・自己評価においては、教育・保育内容を主に取り扱う研修内容で意見交換がさらに充実していく工夫が必要であると感じているようだ。当園の職員に加えて、外部の講師から示唆を得て、それが日々の実践で深まる仕組みを充実していくことが課題である。</p> <p>個別懇談の開催や地域子育て相談機関の設置、病児保育事業の開設などにより、オープン講座の実施など、子育て支援の機会をとるようにはしたが、さらなる工夫改善が必要である。また、園庭開放も以前より充実してきている。</p> <p>今後の課題として、新たな地域の関係機関や団体などとの連携及び協力を構築し、地域に必要なこども園として多機能化を図るとともに、教育・保育の質の向上を図っていきたい。</p>

5 園関係者の評価

<p>運動会 3～5才</p>	<p>・頑張っている姿を見ることができて嬉しかったです。業務でお忙しい中、可愛いダンスの衣装や親子競技の小物など用意していただき、本当にありがとうございました。毎年、運動会の衣装がお気に入りです。今年も家で着ています。今年は3クラス同時開催で子どもにとっては少し長く感じたようで、途中で保護者席に行きたくなって泣いてしまったようですが頑張っていました。</p> <p>・中央付近に、観覧席を設けていただき、そのクラスの番になると場所を譲り合うようにしていただく方が、平等に観覧できると思います。小学校の運動会が、そうでした。また、祖父母の方の参加も多いと思いますので、椅子席を少しは用意された方がよいと思います。鼓笛隊は、やはり最後の方が良いと感じました。より一層見応えと、感動があるように思います。サーキットの時に名前を呼んでいただく音量が少し小さかったように思います。園児お一人お一人の一生懸命な姿に感動しました。今後の成長が楽しみです。いつも丁寧に保育をしていただき、ありがたく思っています。</p> <p>・子供の成長がとても感じられる運動会でした。鉄棒の前回りがなかなかできなかったのですが、本番ではできるようになっていて、たくさん練習したんだなと思うと感動しました。恒例の鼓笛隊はみんな一生懸命で本当に価値のあるものだなと思いました。来年自分の子がやるのかと考えると泣けてきます。楽しみにしています。気になった点は、せっかく体操の先生が来られていたのに、サーキットのときにサポートにおられなかったことです。3歳児のときにサポートがあればできていた子もいたのでは…と感じました。</p> <p>・園児が疲れていない、オープニングから鼓笛だったのが良かったです。あと、可愛いダンスのきく組、あじさい組からのピリッとしたすみれ組のソーラン節でこれから毎年すみれ組はソーラン節で締めるのも良いのでは！？とってしまうくらい締めりが良かったです。先生方ありがとうございました。</p>
<p>運動会 1～2才</p>	<p>・初めての運動会とても楽しみにしていました！泣きながらも、表に出て頑張っている姿を見て凄く成長したなあと思いました！！最後は笑って踊っていつもの調子に戻り良かったです！あと衣装がとても可愛かったです。ありがとうございました(^ ^)</p> <p>・初めて大勢の大人の前にいることに緊張している姿も成長を感じました。先生方が準備して下さった衣装を着て踊っている姿も可愛いく、初めての運動会は思い出深くなりました。準備して下さり、ありがとうございました。</p> <p>・人が多いのが苦手だったのが登場から手を振りダンスも踊れて運動会泣かずに全競技出来たことに凄く成長を感じました。園での日々が楽しいんだなとも感じました！</p> <p>・昨年よりも細かい動作が出来るようになっており、成長を感じました！泣かずにニコニコ笑顔でダンスしている姿を見てとても嬉しかったです。親子競技も子供と一緒にとても楽しめました、ありがとうございました！</p>
<p>オープン教育・保育</p>	<p>・泣いたりしていましたが、先生の言うことをしっかり聞いて行動して事に凄く成長を感じました！楽しそうに遊んでいる姿など見れましたし、スポンなど自分で履く姿など見れて良かったです！</p> <p>・子どもの成長をよく感じました。言葉も、運動も、礼儀も、先生や友達とのコミュニケーション等、とても良かったと思います。</p> <p>・緊張もあって少し泣いてしまいましたが、いつもの園生活の様子は見れなかったかな？と感じましたが、最後まで皆と行動できて良かったと思います。教室に入る事で製作物も近くで見れて良かったです。ありがとうございました。</p> <p>・楽しそうにお友だちとダンスを踊ったり、お歌を歌ったり、家では見れない姿がたくさん見れました。最初から最後まで楽しそうで、素敵な環境だなと思いました。</p> <p>・決められたことをこなすのではなく、自分たちのやりたい物を計画して活動している姿が見られました。すみれさんなので、私たち親が子どもの動きをずっと観察するというより、今回のような日々の積み重ねの発表の場とするオープン子ども園も良いなと思いました。ただせめてお化け屋敷は我が子と入れたら良かったなという願望はありました（笑）</p>

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育課程の作成	これまで園内研修で実施してきた「エピソード記述」・「ドキュメンテーション」に関する研修をもとに、子どもの学びの見とりやそれを言語化し共有していく手法を日常の実践の中で伝え合い、子ども観が深まるように取り組んだ。さらに、それを生かして、効果的に保護者に子どもの様子を伝える学級だよりとして発信した。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて作成し更新した「危機管理マニュアル」を職員間で共有し、職員だけでシミュレーション研修を行うなど、意識の向上を図りつつ、マニュアルのさらなる改善を図る。地震や風水害、感染症等の様々な危機事案に関して、毎月の避難訓練を適切に活用し、状況に応じた対応力を職員・園児に養うようにする。
3	研修と自己評価	「モチベーションアップ」「コミュニケーション力アップ」に関する園内研修は、ほぼ全員の職員が参加することができた。「保育者間の人間関係」を円滑にする「思いが伝わる話し方」についての研修内容が着実に実践できてきている。次年度は、教育・保育内容をテーマとして、職員間のコミュニケーションを兼ねた研修を実施し、その内容が日常の実践の中で深まるようにしたい。
4	保護者支援	地域子育て相談機関としての充実をさらに図り、保護者の子育ての悩みに対して、適時に適切な保護者支援を行うことができる体制をさらに整えていく。